



知床科学委員会

しんぶん

エゾシカ・陸上生態系

ワーキンググループ NO. 7



「知床で今何が起きているの!?!」「どんな調査が行われているの!?!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

エゾシカ・陸上生態系 ワーキンググループって?

知床半島で、エゾシカや陸上生態系の管理をどのように進めるのか議論するための会議です。

この会議での意見をもとに、さまざまな事業が進められています。

今回の会議

7月12日(土)に釧路地方合同庁舎にて、今年度第1回目の会議があり、裏面のようなことを話し合いました。

必見!
TOPIC

ルシャ地区でエゾシカの行動調査スタート!

知床世界遺産地域内では、増えすぎたエゾシカの捕獲事業が環境省により進められています。しかしルシャ地区(斜里町)では、これまで捕獲は行われていませんでした。遺産地域内の主要なエゾシカ越冬地のうち、唯

一手つかずのルシャ地区をどうするか?その検討材料となる情報を得るため、ルシャ地区のエゾシカの行動範囲に関する調査が、今年度から開始されました。



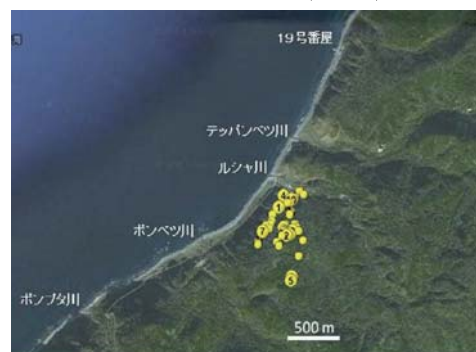
麻酔で眠らされてGPS首輪を装着されたエゾシカ



麻酔から覚めて森へ帰るエゾシカ



首輪のデータを解析すると...



個体番号 14AD03 の 6/11 ~ 7/7 の行動圏

これから冬に向けて行動圏がどう変化するか楽しみだね!



これまでに4頭のエゾシカを麻酔銃で生け捕りにし、GPS付き首輪を装着しました。さらに6頭のエゾシカに冬までに首輪を装着し、計10頭の行動範囲を2年間追跡する予定です。ルシャ地区にいるエゾシカたちの、季節ごとの行動面積は?夏と冬の生息場所はどれくらい離れているのか?首輪を装着したエゾ

シカたちの行動を知ることで、ルシャ地区を利用する群れ全体の動きを推測します。このようなデータを元に、捕獲適期の冬期は雪と流水に閉ざされ、行くことがとても難しいルシャ地区で、どのような対策ができるのか検討していきます。